

ペンギンとギンギンの知リ隊

1

供養札はどのようにつくられてるの??



東京新の宿は
サカ木町。とある
本部ビルの上には
誰にも気づかれ
ない小さな
探偵事務所が
あったとせ...



探偵



もつと知リ隊
ボス、ペン次郎
です

助手

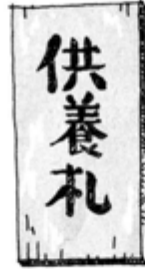


たのりない
ボスともども
ヨロシク♡

助手のギンギン
です。



ボス、
今回の調査依頼
はこれです。



何だこれは
板じか
ないか。

供養札



フムム... サツ...?



ボス
まき屋に読んで
たははははははははは!



ボス、
供養札は
もみの木から
作られるん
ですって...
どこから
持ってきたの...?



早連
調査
開始
パキ
ンキ



木の産地は
決まってるんです。

係です

ホームセンターで
買ったんじゃないの?

群馬県
中之条

本部



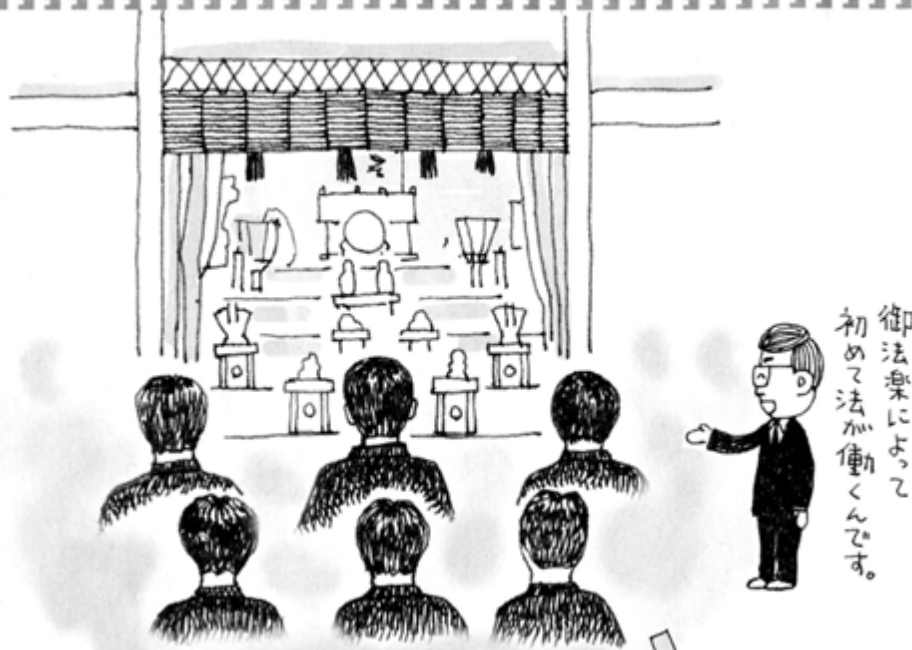
ボス
だかなが
着ないで
すわ
しやが
ない
大した
足が
短け
な
ま



もちろ
ん加
工
し
て
ま
す。

供養札の歴史●最初、供養札は紙製でした。その後、寒冷紗(目が荒く、薄地で硬めの綿布)という布製の時代を経て、現在の木製になりました。この供養札の材質を、もみの木にと決められたのは金剛さまです。実は金剛さまが御遷化された後、入手が困難になったため材質を変えようと試みたのですが、結局、最適なものはもみの木であるとの結論に至りました。そして金剛さまの眼力の確かさに、改めて畏敬の念を持ったのです。それ以後は、確実に入手できるように手配され、現在に至っています。





御法衆によって
初めて法が働くんです。

お札ができるまで●まず一回り大きく切り分けて乾燥後、供養札の大きさに整えられ、本部に届きます。そして墨文字が入られ、最後に御五法の朱文字が入ります。
尚、祖霊供養の大切さを示された金剛さまのご指導により、「祖霊供養札」は正目（木目が真っ直ぐに通った所）のみが使われています。



※公開はしていません。

御五法朱文字「朱」の神秘●朱は二種類の液体からできています。一つは、日本酒で溶かした「本朱」。もう一つは、桃の木のヤニを水に浸して溶かし、不純物を取り除いた後、「カワ」を混ぜて作られた「代用朱」。この二つを練り合わせた後、しばらく寝かします。この時、液体が熱を持ち紫に輝けば成功ですが、分離したら失敗です。間けば、二つの朱を練り合わせる時、神仏に合わせる気持ちがないと失敗すること。このことから、お札を謹製する大変さが伺えます。



※つぼはイメージです。

「御法衆」とは●会員の手に届けられる前に、斎主の法主さま、本部の役員たちがそろって神々さま、金剛さまに願うとき、御五法が正しくお働き頂き、お札を手にする一人ひとりが、幸せになれるように祈る大切な儀式です。それは、供養札をはじめとする御五法の入れられた、総てのお札一つひとつに対して真心を込めて行なわれています。この「御法衆」によって、初めて御五法が正しく働くのです。

完成!!

供養札



年に2回、
あとりかえすると
いいです。



気持ち
が大切です。

供養札申し込みの心得●「いつもと同じ」などのような安易な気持ちで申し込むのではなく、一つ一つその供養札が自分にとってどのように大切なかを自覚しながら申し込むことが大切です。自宅の神棚や仏前でその供養札を申し込ませて頂くことをご報告し、支部の御神前でもご挨拶させて頂きましょう。